

【資料⑤】

平成28年度特定非営利活動法人十日町市地域おこし実行委員会事業計画書

1 事業実施の方針

池谷・入山集落において、「集落の存続」を目指し、組織としての営農体制を充実させる。具体的には今後3年間で農業従事者4名の体制を作り、ライスセンターを建設するための準備を行う。将来的には農地集約の受け皿に当会がなれるように組織としての稲作技術の習得・向上を図る。また、より多くの人に交流してもらえるように体験交流事業の運営方法を変える。具体的には外部の団体等と連携した取り組みを行ったり、日帰りイベントにして来てもらいやすい形にする。また、他団体の人達にフィールドを提供し、自然の力を活かして取り組みがよりよくなるようなきっかけづくりの場を提供する。

飛渡地区において作成の支援をした将来ビジョン実現のための取り組みにおいて飛渡地区の農産物をブランド化して販売するところで当会の農産物の販路拡大にもつなげていく。

十日町市内や津南町などの近隣の市町村に向けて移住促進の支援を行う。十日町市内ではさとナビを活用して情報を発信し、移住希望者に対してインターンシップのコーディネートを行う。振興局から委託を受け、十日町市と津南町の合同でツマリカフェを開催し、移住希望者への相談対応を行う。

全国各地の地域おこしに熱心な人達に対して、地域おこし応援プログラムを実施していく。地域おこし応援プログラムの内容は、以下を実施する。

- ①講演や視察受入
- ②地域おこしのポイントを伝え、実際に自分たちの住む地域の現状を踏まえて今後の地域おこしの計画を立て、その進捗について相談に乗る研修
- ③地域の人達を巻き込んでいくために地域のビジョンを作る事ができるようになるための研修
- ④地域の取り組みを事業として確立するためのビジネスモデルを作るための研修
- ⑤個別支援

里山プロジェクトは今年度も引き続き実施し、十日町市内の地域おこし協力隊のサポートや地産地消の推進、中山間地振興につながる活動を実施する。

2 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
池谷・入山モデル作り事業	①池谷・入山で農作物の生産・販売 ②池谷・入山で農山村体験の受入 ③池谷・入山の除雪請負	通年、随時	池谷・入山集落	6人	池谷・入山の農産物を購入したり、訪れる全国各地の人達1000人	12,799,547
地域おこし応援事業	①地域おこし応援プログラムの実施 ②池谷・入山以外の地域への移住促進	通年、随時	日本全国	3人	インターン希望者5名、都会に住む移住希望者70名、地域おこしを頑張ろうとする人達1000名	9,141,600
里山プロジェクト (地域復興支援員設置事業)	①地域おこし協力隊の支援 ②十日町市内での地産地消を推進 ③十日町市内の中山間地振興	通年、随時	十日町市内全域	5人	十日町市内の中山間地の集落の住民1000人	24,297,000